

宇都宮大学工学部基盤工学科応用化学コース 令和6年度入試に関する Q&A

※令和6年4月より、宇都宮大学工学部基盤工学科物質環境化学コースは、応用化学コースに名称が変更となります。

はじめに

地球の未来を設計したり、新たな産業を生み出したり、次なるパンデミックに備えるためには、化学、すなわち物質を取り扱うサイエンスとテクノロジーが不可欠です。宇都宮大学基盤工学科応用化学コースでは、環境・エネルギー・材料・バイオ・生命・医療などの分野に関わる化学を中心に学び、「世界のどこに行っても『化学』を駆使して活躍できる人」を養成します。

○令和6年度入学者選抜の重要な変更点について

工学部では、一般選抜後期日程を除き、実施する選抜では「化学系」「機械・情報電子系」と2つの系に分けてそれぞれ入学者選抜を行います。また、化学系で合格した場合は、大学2年次から配属するコースは原則応用化学コースとなりますのでご注意ください。なお、化学系では新たに総合型選抜を実施し、一般選抜前期日程、学校推薦型選抜I、総合型選抜の3つの区分で選抜を実施します。

詳細は本学 HP「入試情報」の「令和6年度宇都宮大学入学者選抜要項（令和5年7月3日公表予定）」をご覧ください。

[宇都宮大学 HP「入試情報」](https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php) <https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>

[「令和6年度（2024年度）宇都宮大学入学者選抜方法の変更点について（予告・公表）」](https://www.utsunomiya-u.ac.jp/docs/R6yokoku20220701.pdf)

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/docs/R6yokoku20220701.pdf>

※令和6年度宇都宮大学入学者選抜要項は7月3日公表予定です。公表までは上記の資料をご覧ください。

1 総合型選抜への出願

1-1 総合型選抜ではどのような人を求めていますか？

化学が好きで、様々なことを謙虚に学ぶ強い意欲をもった人を求めています。

1-2 総合型選抜が考える「化学が好きな人」って具体的にどういう人ですか？

自然、特に化学に関連することに対して興味を持っている人です。例えば、高校の科学部などの活動や高大連携事業などで化学に関連するテーマで、時間を忘れて積極的に取り組んだ人はもとより、化学の授業に高い興味関心を持つ人も挙げられるでしょう。

1-3 化学も実験も大好きなのですが、苦手科目が幾つかあります。それでも受験できますか？

はい、出願要件を満たしていれば可能です。ただし、大学での学びのためには、どのような苦手科目であっても、あきらめずに辛抱強く学ぶ姿勢が重要です。

1-4 部や学校において理科に関する活動を行っていませんが、総合型選抜へ出願しても問題ありませんか？

理科が大好きで一生懸命勉強しており、本学で学ぶ意欲が高ければ問題ありません。通常の学習や趣味も含めて理科に向き合っている内容と本学で学ぶ意欲に関して、自己推薦書とプレゼンテーションで存分にアピールして下さい。

2 総合型選抜の内容

2-1 どんな入試ですか？

工学部で、専門分野としての化学に高い関心を持って学ぶ意欲と態度を重視した選抜を実施します。また、化学に関する基本的な学力や「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」も評価します。総合型選抜の入学選抜基本方針は、令和6年度宇都宮大学入学選抜要項をご覧ください。

2-2 具体的には？

出願書類審査、プレゼンテーション、プレゼンテーションに対する試問、および個別面接を行います（一人あたり15～25分程度が目安です）。

- ・出願書類審査：主に自己推薦書と、プレゼンテーション資料の内容を審査します。
- ・プレゼンテーション：広く理科や化学に関連した課題に取り組んだ内容について、5分程度で発表してもらいます。様式は事前にテンプレートファイル（フォーマット）を配布しますので、それを参考にしてプレゼンテーション資料を作成してください。
- ・プレゼンテーションに対する試問、および個別面接：プレゼンテーションの内容に関する質疑応答を行います。質疑応答には、化学の基礎知識に関する確認も含まれます。個別面接では、入学後の抱負や勉強に対する意欲などについて尋ねます。

3 総合型選抜に向けた準備

3-1 試験のためにどのような準備をすべきですか？

事前にインターネット配布するテンプレートファイルを用いてプレゼンテーション資料を作成してください。テンプレートファイルのフォーマットに従って資料を準備し、事前によく発表練習しておくといいでしょう。また、化学の基礎知識についても質問しますので、授業で習ったことなどをよく復習しておいてください。時間があれば、様々な大学や機関で開催されている連携講座などの理科に関するイベントに参加するのも良い準備です。

○イベント等の例

大学が行う高校生向けの化学実験講座や出前講義（出張講義）、部活動で行った化学分野に関連する研究、高校授業の一環として実施した課題探求、課題探求に類する課外での研究活動、日本化学会1日体験化学教室、宇都宮大学iP-U、iP-Uゼミナール、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）、学会での研究発表、その他広い意味で化学分野に関して取り組んだ活動 など

3-2 いつから準備したらよいですか？

受験生の事情や通う学校の都合にもよるので、一概には言えません。ただ、次のようなモデルケースが考えられます。

総合型選抜は10月を予定していますので、夏休み前からプレゼンテーション資料の準備と発表練習は必要かと思います。プレゼンテーション資料を出願書類として提出したのちの修正はできませんので、十分な準備が必要となるでしょう。また、総合型選抜では、化学の基礎知識に関しても確認しますので、夏休みに改めて授業で習った内容を復習することは大事です。

4 併願について

4-1 他大学との併願は可能ですか？

できません。「合格した場合は宇都宮大学へ入学することを確約する」が出願要件です。

5 合格後について

5-1 数学や物理が不得意ですが、入学後についていけるのでしょうか？

工学部においては、どのコースに進んでも数学・物理の基礎的な学力は必要です。総合型選抜や学校推薦型選抜で合格した場合は、卒業までの時間を有効に利用して数学・物理に時間を割いて学んでください。そして、入学後も努力を怠らず、分からないことはどんどん質問する積極性を維持しましょう。宇都宮大学の先生方は、各科目で分からない点に関する質問へ丁寧に対応してくれますし、そのように勉強に熱心な学生達を歓迎しています。謙虚に学びつづけければ、不得意を克服することができます。

6 大学で学ぶ化学について教えてください

大学での化学は物質と物質の変化を探求する学問です。例えば、大学では「物理化学」という「物理」と「化学」が融合した科目や、「生物工学」という「生物」と「化学」が融合した科目もあり、高校化学の範疇を超える幅広い分野を「化学」として捉えています。このように「化学」「物理」「生物」に関して万遍なく学ぶことが、「環境・エネルギー・材料・バイオ・生命・医療」分野で活躍する人材を育成するのに重要なことと考えています。

7 入学後のカリキュラムについて教えてください

「宇都宮大学の学士課程教育 2023 ～学生の皆さんへの約束～」に掲載している「カリキュラムツリー」が参考になると思います。

「宇都宮大学の学士課程教育 2023 ～学生の皆さんへの約束～」

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/activity/research/bachelor.php>

8 奨学金はありますか

[入学金・授業料・奨学金について | 宇都宮大学 受験生応援サイト \(utsunomiya-u.ac.jp\)](https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/fee)に詳しく記載されていますので、こちらを参照して下さい。

9 キャンパス見学（質問）は可能ですか

定期的にオープンキャンパスを開催し、イベントとして「相談コーナー」や「研究室ツアー」があり、その際キャンパス内を見学し、入試に関する質問へお答えすることもできます。また、応用化学コース独自のイベント「一日体験化学教室」へ参加すると、研究室内の雰囲気や研究内容に触れることもでき、かつ大学生活に関する質問にも対応します。

○オープンキャンパスに関する最新の情報は、[受験生応援サイト](https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/fee)をチェックしてください。

・[受験生応援サイト](https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/) <https://admission.utsunomiya-u.ac.jp/>